

お寺の子ども会 西教寺進徳校 だより

西教寺蔵本通支坊 2012. 8. 6 呉市中央 7-7-13 TEL 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net



(写真右) はじめは見学だった
いっちゃんも、勇気を出して
参加。上手に出来ました。



レインコートゲーム

今年の梅雨は、豪雨で他府県は大
きな被害がでました。

さて、子ども会の方は呑気で申し
訳ないのですが、梅雨ということ
レインコートゲームをしました。子
どもら(写真)が着けている新聞は
実は新聞ではありません。レインコ
トです。二手に分かれてよいいドン
レインコートが落ちないように走っ
て戻ってきます。うまくいったら次
の人にタッチ。意外にもあがつて、



猛スピード。勝負は真剣そのもの(笑)。

全員一丸となって真剣に競争。子ど
もらの走る速さにびっくりしました。

津波でんでん

話はかわりますが、「津波でんでん

こ」ってご存知ですか？

津波の多い三陸地方に伝わる言い
伝えです。津波が来たら、でんでん
ばらばらに、親子でもかまわず(自
分の責任で)早く高台に逃げるとい
う意味だそうです。今回それを実践
した釜石中学校と鶴住居小学校
五六二名は、誰一人死なずにすんだ
のだそうで「釜石の奇跡」と呼ばれ
ています。

「お互いにかまわず逃げろ」とは
冷たいようですが、かまっていたら
皆が死んでしまう現実の中で、全滅
を回避するための先祖の知恵なので
しょう。

考えてみると、これは冷たいどこ
ろか、普段からのお互いの強い信頼
関係がなければできないことのように
思われます。「お父さんは必ず逃げ
ているからね、お前もお父さんをさ
がさなくていいから二人で逃げるんだ
よ。」また、子どもも「私は必ず逃げ
るから大丈夫。お母さんもさがしに
来なくていいからね。」と、普段から
お互いの信頼関係ができていればこ
そのことに思われます。

私が個人的に思うのですが、ばら
ばらに逃げても、「無事だったらここ

で合おうね」という待ち合わせ場所
だけは決めておきたいように思いま
す。人生色んな縁で、でんでんば
らばらにならなければならぬこと
もあると思いますが、最後はここで
合おうねという約束です。

津波に限らず、私たちはいずれ死
んでゆかねばなりません。それは、
悲しいことにいつ来るか分からない
し、理不尽にも順番はありません。
現代人は、津波なんか来ないと、高
を括っています。灰になった、消え
てなくなつたです。その時になる
人は少ないようです。その時になつ
てあの人(あの子)はどこへ行ったの
か、さがし求めても分からず、苦し
まねばねばなりません。

お母さんはここで必ず待つている
からね、安心して逃げる(生きる)
んだよ、そして間違えないように必
ず来るんだよと、死ぬまでの人生だ
けではなく、死の向こう側までお互
いに確かめ合つておくことは大事な
ことだと思えます。おじいさんおば
あさんが、孫に伝えてやるのもよい
でしょう。

心に浄土を持つ人の人生は、厳し
くても安らかです。

次回は9月9日(日) 9時~10時(通常通り)です。